



©大田区

# おおたの教育

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL 5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

## 今号の主な内容

- 1面 おおたの STEAM 教育を推進しています
- 2面 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果から
- 3面 話してみようあなたの悩み、家庭教育コラム
- 4面 エコフェスタワンダーランド ONLINE、地球にやさしいまちづくりポスター入選者発表



## 子どもを慈しみ育てる寅年に



大田区教育委員会  
教育長  
小黒 仁史

明けましておめでとうございます。

令和4年、新たな年を迎えました。今年の干支は寅です。手元から離したくない大切なものを「虎の子」というように、虎は子どもを非常にかわいがるそうです。教育委員会は、寅年の今年も、子どもたちが大切にされ、温かい教育環境の中で健やかに成長できるよう取り組んでまいります。

さて、学校を訪問して子どもたちの生き生きと学ぶ姿を見ると、子どもたちは新型コロナウイルスに負けず、日々確かに成長していると感じます。とりわけ印象的だったのは、タブレット端末を熱心に操作する子どもたちの姿です。昨年、児童・生徒一人1台のタブレット端末の配備が完了しましたが、子どもたちは、タブレット端末の操作に慣れるのが早く、熱心に取り組む様子を見てると、タブレット端末を活用した学習の大きな可能性を感じました。

一方、子どもたちの健やかな成長を図るには、人との豊かなかわりが欠かせません。昨年末の区議会定例会では、議員の方から、「恩師」についての質問をいただきました。私は、「恩師とは、子どもを深く理解し、意欲に火を灯し、子どもの可能性を引き出す存在である。」とお答えさせていただきました。

教育委員会は、タブレット端末を活用した新たな学びを通して子どもたちの未来社会を創造的に生きる力をはぐくむとともに、子どもたちが、恩師と呼べる先生と出会い、友達との楽しい学校生活の中で、豊かな人間性が育まれるよう本年も全力で取り組んでまいります。

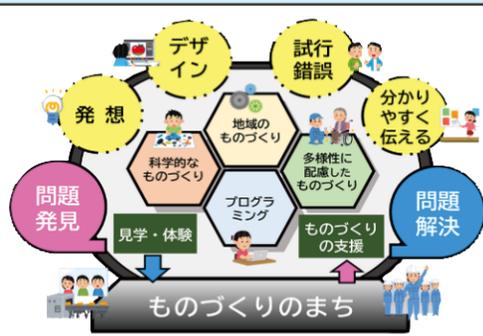
保護者、地域の方々、そして区民の方々のご理解、ご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## おおたの STEAM 教育を推進しています



### 「(仮称)未来ものづくり科」の新設



### おおたのSTEAM教育の推進

### 創造的な資質・能力の育成



新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行や激しい気候変動、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)などの急速な技術の進展等の様々な要因により、現代社会は、予測困難な時代にあります。

おおた教育ビジョンでは、このような社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力の育成を目指しており「STEAM教育」はそれらを推進するための教育です。この「STEAM」は、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術・教養等)、Mathematics(数学)の頭文字を取った言葉で、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科横断的な教育のことです。

教育委員会では、大田区が「ものづくりのまち」という特色を生かし、大田区独自の教科「(仮称)未来ものづくり科」を新設し、「STEAM教育」を推進することを計画しています。「(仮称)未来ものづくり科」は、区内の小学校第5・6学年の児童を対象とし、地域のものづくり、プログラミング、科学的なものづくり、多様性に配慮したものづくり等を扱い、ICTを活用しながら、発想、デザイン、試行錯誤、分かりやすく伝える等の学習を行い、創造的な資質・能力を育成します。現在、小池小学校、出雲小学校、道塚小学校の3校で教科新設に向けたカリキュラム開発の研究に取り組んでいます。

【問合せ先】 指導課指導主事 TEL: 5744-1435 FAX: 5744-1665

## 「(仮称)未来ものづくり科」の新設に向けた取組

### ～道塚小学校～

センサーを使いプログラミングで音や光を制御してものづくりをする学習



### ～出雲小学校～

企業や都立六郷工科高等学校の協力を得て、飲料やお菓子の商品開発をする学習



### ～小池小学校～

町工場で働く方を講師に招いて、製品やものづくりの技術を知る学習



# 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果から

令和3年5月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。対象教科は、小学校は国語、算数、中学校は国語、数学でした。本調査は、児童・生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るとともに、児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを主な目的として実施しています。

結果はグラフのとおりです。小学校では、国語、算数ともに全国の平均正答率を上回る数値を示しています。中学校では、国語、数学ともに全国の平均正答率とほぼ同じ数値を示しています。

おおた教育ビジョンでは、成果指標として、本調査の質問紙調査を設定しています。「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に、肯定的（「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」）に回答した小学校第6学年の児童の割合を、令和元年度から5年間で84.0%に引き上げることをめざしています。今年度は78.2%という結果でした。今後も、学校で児童・生徒のよいところを認め励ますことで、自己肯定感や学びに向かう姿勢を養い、学力の向上を推進していきます。

【問合せ】 指導課指導主事 TEL：5744-1435 FAX：5744-1665

「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に、当てはまる・どちらかというときと当てはまると回答した割合

	令和3年度	～	令和5年度 (目標値)
小学校	78.2		84.0
中学校	77.0		

「自分にはよいところがあると思いますか」という質問と平均正答率との関係

## 小学校第6学年

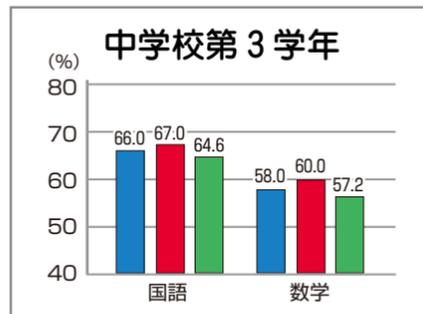
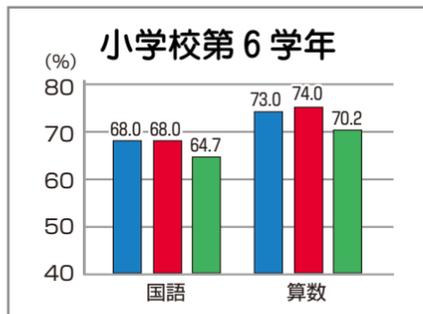
	国語	算数
当てはまる	71.8	76.1
どちらかといえば当てはまる	67.3	72.5
どちらかといえば当てはまらない	63.2	69.7
当てはまらない	61.7	67.8

## 中学校第3学年

	国語	数学
当てはまる	66.6	59.9
どちらかといえば当てはまる	66.3	58.9
どちらかといえば当てはまらない	64.0	54.5
当てはまらない	61.2	50.9

## 平均正答率

■大田区 ■東京都 ■全国



## ものづくり教育・学習フォーラムを開催します

ワクワク ドキドキ ステキなものづくり！

今回で20回目を迎える「ものづくり教育・学習フォーラム」は、大田区の小・中学校から高等学校、各企業・団体までが協力して開催する「ものづくりのまち～大田～」ならではの一大イベントです。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止でしたが、今年度は感染症対策を講じて実施します。（今回は参加者を制限した形による実施となります。詳しくは、区のホームページをご覧ください。）

開催日時 1月15日(土) 9:00～16:00  
会場 大田区産業プラザ PiO (南蒲田1-20-20)

—こんなことをやっています！—



1 体験発表…区内小・中学校等によるものづくり体験、職場体験発表



2 作品・体験学習展示発表



3 ものづくり競技会…技術・家庭科 技能コンテスト (区内中学校代表生徒)



4 ものづくり体験…楽しい体験が盛りだくさん！

※今年度は、ものづくり体験は事前申込み制としており、申込みは締め切らせていただきました。なお、当日の申込みはありませんので、ご注意ください。

【問合せ】 指導課指導主事 TEL：5744-1435 FAX：5744-1665

## おおたの教育研究発表会開催

「おおたの教育研究発表会」は、教育研究推進校8校及び家庭学習研究推進校2校による研究成果の発表と、参観した方々との意見交換を通して、区全体の教育力の向上を図ります。

**日時** 2月17日(木) 14:00～16:00  
**場所** 池上会館(大田区池上1-32-8)  
全体会：2階集会室 分科会：各会議室  
**申込方法** 大田区立学校の保護者の方は、学校へお申込ください。区内在住の方は、「住所・氏名・連絡先・希望する分科会」を電話またはFAXで問合せ先へお知らせください。新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応のため、人数を制限して実施する予定です。感染状況により、ご希望に沿えない場合がございますので、事前にご承知おきください。  
**申込締切** 1月27日(木)  
**その他** ・分科会は、表の①～④の4つのテーマに分かれます。  
・教育委員会では、教育研究推進校を指定し、当面する教育課題を積極的に解決する実践的研究を奨励し、2年次に各学校を会場として、研究発表会を開催しています。

## 令和3年度おおたの教育研究発表会 分科会テーマと発表校

分科会	テーマ	発表校(研究教科等)
①	主体的・対話的で深い学びの実現	北糀谷小学校(キャリア教育)
		石川台中学校(各教科等)
②	個別最適な学び・協働的な学びの実現	久原小学校(体育)
		大森第四中学校(各教科等)
③	情報教育及びプログラミング教育の推進	梅田小学校(プログラミング教育)
		羽田中学校(ICT教育)
④	ものづくり教育の推進	道塚小学校(ものづくり教育)
		出雲小学校(ものづくり教育)

※馬込小学校と高畑小学校(家庭学習研究推進校)は、全体会で発表を行う予定です。

【問合せ】 指導課指導主事 TEL：5744-1435 FAX：5744-1665

# 話してみよう あなたの悩み

一人で悩まずに教育相談をご利用ください。  
あなたの「いやだ」「困ったな」「助けて」の声に耳を傾けます。

いつまで続くかわからないウイルス感染への不安や感染予防行動、新しい学習方式などに適応するため、子どもたちはさまざまなストレスを感じています。

いじめ、友人関係、不登校や学習・進路に悩む子どもたちと保護者の皆さんの心に寄り添ってお話を伺います。

一人で悩まずに、ぜひ、ご相談ください。

## ★教育センター 教育相談担当

平日：午前9時～午後7時 土日：午前9時～午後5時  
(年末年始・祝日を除く。)

- ・保護者の方 電話番号 03-5748-1201
- ・子ども専用 電話番号 03-5748-1203 (子ども電話相談)

## ★こころの輪メール kokoronowa@city.ota.tokyo.jp

返信は1回限りになります。相談を継続された方は、教育センターの教育相談担当による電話相談等をご利用ください。

右の二次元バーコードから  
「こころの輪メール」につながります。



昨年9月に小学1年生と小学校への転入生に、  
反射板素材の「はねぴょんキーホルダー」を配付しました。

裏面に、「子ども電話相談」の電話番号と「こころの輪メール」の二次元バーコードがプリントされています。



問合先 教育センター TEL：5748-0801 FAX：5748-1390

## 区長と教育委員との意見交換

# 大田区総合教育会議を開催しました



10月25日、令和3年度第1回の大田区総合教育会議が開催されました。

総合教育会議は、区長と教育委員会とが、教育に関する課題等について協議や調整を行うことで連携を深め、教育行政の推進を図ることを目的としています。

今回の総合教育会議では、「不登校対策の充実等」をテーマに、区長と教育委員とで幅広く意見交換が行われました。

区の不登校対策については、取組への指針として教育委員会が策定した「大田区不登校対策アクションプラン」に対し、登校支援員などの人的措置への評価のほか、相談しやすい環境や子どもたちの居場所の整備に向けての提言がありました。

また、次年度以降の導入に向けて準備が進められているコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)については、大田区の地域力を生かしながら、学校ごとに特色のある組織づくりを目指していくことへの期待が示されました。

学校における感染症対策については、今後もこれまでどおり、校内での取組を徹底することや、子どもたち自身が感染症対策を理解するためのリテラシー教育の重要性が指摘されました。

会議で交わされた意見等は、区長と教育委員会とで情報共有を図り、大田の子どもたちが力強く元気で生き生きと成長できるよう、今後も取り組んでいくこととしました。

問合先 教育総務課庶務係 TEL：5744-1422 FAX：5744-1535

# 家庭教育 コラム

## 子どものおこづかいはどうしている？ キャッシュレス時代の見えないお金との関わり

ファイナンシャルプランナー 吉田 淳子

### 【キャッシュレス化の進展】

コロナ禍の下、新しい生活様式が浸透しつつあります。日常の様々なものがオンライン化し、クレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス(現金以外のお金の支払方法)の動きも加速しています。キャッシュレスは効率的、便利、安全、人手不足が解消できるというメリットがあり、世界的な流れとともに、日本でも官民一体で普及に取り組んでいる状況です。

子どもたちの中にも、実際に現金を使う機会が減ったという声が聞かれます。電子マネーは小学校の1年生でもよく知っており、「ポイントもお金」と答えます。その一方で、オンラインゲームのアイテムを親のクレジットカード決済などで「親のお金で購入している」という認識が薄いのが実情です。また、最近は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、親子で一緒に買い物に行くことも控えるようになり、商品の選び方など日常の会話を通じてお金の大切さを教える機会が少なくなりました。

### 【お金の大切さを教えよう】

キャッシュレス時代において、子どもにお金の大切さを実感として伝えるポイントは次の3つです。

#### ①お金は働いて得るもので限りがあることを伝えよう

お金を使うということは、お金とモノやサービスを交換することです。労働の対価である「収入」には限りがあり、「家計」として予算化されています。その中からおこづかいも出ており、家計の一部で信用して任されたものであるという共通認識を親子で持つことが大切です。

### オンライン



#### ②消費を振り返る習慣を身に付けよう

その金額の価値にあった交換になっているか、消費を振り返って考える習慣を身に付けることが重要です。電子マネーでは残高が即時に確認できません。レシートや電子マネーの履歴で「見える化」して意識していきましょう。データをチェックする



習慣があれば、お金の流れを把握し無駄な出費を防ぐことができるでしょう。大人になってからクレジットカードを利用する際にも役に立ちます。

#### ③親子でおこづかいのルールを決めよう

おこづかいの金額と使い道を親子で一緒に決めていきましょう。子どもの意見も反映しておこづかいのルール作りをします。子どもは自分で決めたルールであれば受け入れて守るでしょう。そして、話し合いの中で親の気持ちを伝えます。年齢があがると親子の会話も減っていきませんが、子どもにとってお金はとても関心の高いものなので、コミュニケーションを取るよい機会になるでしょう。



2022年4月から成年年齢の引下げで18歳から大人として扱われます。その前に、おこづかいを通じてお金の大切さとバランスの取れた金銭感覚を身に付けさせたいものです。

問合先 教育総務課教育地域力推進担当

TEL：5744-1447 FAX：5744-1535

家庭教育コラムのバックナンバーや家庭教育学習会の情報は、大田区ホームページからご覧いただけます。



# 第21回 エコフェスタワンダーランドONLINE



～ オンラインで考えるわたしたち地球の未来～

初のオンライン開催となる環境について学べるイベントです。  
おうち時間で環境問題について、親子で学ぼう！！

開催期間 2月1日(火)から2月28日(月)まで

開催内容 オンライン環境学習イベント

- ・環境学習とワークショップ動画等
- ・環境保全等に取り組む団体・企業等の紹介
- ・令和3年度地球にやさしいまちづくりポスターコンクール  
入選作品紹介
- ・ミニイベントの開催(※エコグッズプレゼント)

イベント情報はこちら▼  
(区ホームページ)



## 地球にやさしいまちづくりポスター入選者発表

小・中学生が環境問題について考え、表現したポスターのコンクールを行いました。審査の結果、ポスター作品(応募数:280作品)の入選者が決定したのでお知らせします。入選作品は、大田区ホームページに掲載しています。

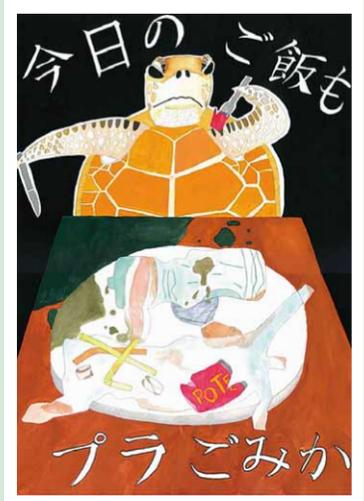
### 【最優秀賞】



池雪小学校3年 瀧澤 実穂



久原小学校6年 松本 昌大



貝塚中学校2年 杉本 葵

### 【優秀賞】



東六郷小学校2年 岩村 旭  
都南小学校3年 アチャンボン 成杏

池雪小学校6年 日高 里咲  
馬込小学校6年 田中 未景

東調布中学校2年 上田 康太  
東調布中学校1年 高見 遙



▲入選作品はこちら  
(区ホームページ)

### 【入選】



糎谷小学校1年 山本 心結  
大森第一小学校1年 菅沢 璃子  
調布大塚小学校1年 樋口 莉子  
馬込第二小学校3年 小田 絵美里  
馬込第三小学校2年 山本 結子

調布大塚小学校4年 樋口 眞子  
池雪小学校6年 長森 陽  
梅田小学校4年 小島 将暉  
馬込小学校4年 田中 千鳥  
萩中小学校4年 原田 理世

大森第六中学校3年 永山 雅花  
大森第六中学校2年 永竹 杏名  
大森第六中学校2年 谷中 美聖  
貝塚中学校1年 澁谷 晴  
馬込東中学校1年 小田 礼奈  
安方中学校3年 石井 彩葉

【問合せ】 環境計画課計画推進・温暖化対策担当 TEL:5744-1362 FAX:5744-1532

### 受賞おめでとうございます

第19回 和洋女子大学競書大会  
文部科学大臣賞

第35回 全国書写書道展覧会  
全国小学校賞

千鳥小学校

横田 海斗



### 教育委員の就任について

令和3年12月12日付けで、三留利夫委員が再任いたしました。



三留利夫委員

### 教育委員会定例会の主な議題

- 令和3年第9回定例会(9月27日開催)
- 令和3年第10回定例会(10月25日開催)
- 令和3年第11回定例会(11月22日開催)

### 教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①1月20日(木) ②2月14日(月)  
③3月28日(月)

■時間 午後2時から

■場所 蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階  
教育委員会室

※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合せへご確認ください。

※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。

【問合せ】 教育総務課庶務係

TEL:5744-1422 FAX:5744-1535